

平成30年度（2018年度）

みんなの川の環境調査
－川の生き物と水質を調べてみよう－

報告書

令和2年（2020年）2月

熊本県環境生活部環境局環境保全課

はじめに

本報告書は、環境を守ることに関心のある団体や学校等が身近な河川等において、指標となる生物や水質等の水環境調査を実施した結果をとりまとめたものです。

河川等の水質を改善するためには、汚れのもととなる物を流す工場・事業場や一般家庭等からの排水対策も必要ですが、それとともに地域の人々が水に対し関心を持ち、水を汚さないよう意識していただくことが重要です。また、今日では、これまで私たちが忘れかけていた自然とのふれあいや水辺での遊び、水生生物の生息環境の保全などを求めようという志向が高まっており、いわゆる快適な「水環境」を保全する必要があります。

このような背景から、県では平成6年度（1994年度）に水質調査、川底調査、底生動物調査の3部門からなる啓発用テキスト「川の水環境・調査のてびき」を作成し、身近な水環境を保全するための啓発に努めてきました。これは河川の底生動物25種を指標生物として選定し、水環境を「Ⅰ：快適な水環境」、「Ⅱ：親しめる水環境」、「Ⅲ：不快を感じない水環境」、「Ⅳ：多少不快な水環境」及び「Ⅴ：不快な水環境」の5段階で評価する「熊本県方式」となっています。

底生動物の生息状況を見ると、底生動物は自分の餌を確保する場所が必ず必要であり、また、自らの身を守るために石ころや泥を必要とすることもあります。特に水生昆虫では、水中から離れた水辺が繁殖の場である場合もあり、水質の快適さのみではなく、水温、水生植物、水辺環境等多くの要因が加わり、総合的な水環境と関わりながら生息していることが分かります。こういったことから、本調査においては単に「水質」ではなく「水環境」という表現を用いています。

最後に、本書をまとめるに当たり、調査に参加いただいた環境保全団体、学校や調査指導協力をしていただいた関係機関の皆様に御礼申し上げます。

令和2年（2020年）2月
熊本県環境生活部環境局環境保全課

目 次

I. 調査の目的、方法、結果の概要	-----	1
II. 各団体の調査結果	-----	7

I 調査の目的、方法、結果の概要

1 調査の目的

水質検査がその瞬間の水の状態を評価する方法であるのに対し、川に棲む水生生物（底生動物）の種類や数を調べると、より長期的な水環境を知ることができます。また、底生動物の調査には特殊な器材も不要なため、比較的簡単に実施できるという利点があります。

本調査は、環境保全団体や学校等（以下、「環境保全団体等」とする。）が「水生生物調査」や「水質の簡易調査（パックテスト）」を実施することにより、身近な川の水環境についての関心を高め、地域における水環境保全活動を支援することを目的に実施しました。

2 調査方法

熊本県が作成した「川の水環境・調査のてびき」（平成7年3月発行、平成23年10月改訂、熊本県環境生活部環境局環境保全課）に準じ、水環境の快適さを表I-1に示す5段階とし、川の地形と流域の土地利用状況（評価基礎点）、水質、川底、底生動物の4項目の評価を実施しました。

なお、調査は環境保全団体等が自ら企画し、県環境保全課及び管轄保健所等と協力して実施しました。

3 調査結果の概要

環境保全団体等27団体がのべ44地点で調査を実施し、のべ1,124人が参加しました。調査実施団体等の内訳は、環境保全団体関係が9団体、学校関係が18団体でした。

また、調査場所44地点の内訳からは、緑川水系（8地点）や白川水系（7地点）、菊池川水系（6地点）、球磨川水系（6地点）などで特に熱心な活動が実施されていることがうかがえました。

指標生物及び簡易水質調査結果（表I-2）

生物から見た水環境評価では、調査地点23地点中、評価値Ⅰ「快適な水環境」が19地点、評価値Ⅱ「親しめる水環境」が2地点、評価値Ⅲ「不快を感じない水環境」1地点、評価値Ⅳ「多少不快な水環境」が1地点、評価値Ⅴ「不快な水環境」は0地点と大半の地点において比較的良好な結果が得られました。

一方、水質から見た水環境評価では、調査地点44地点中、評価値Ⅰ「快適な水環境」が23地点、評価値Ⅱ「親しめる水環境」が12地点、評価値Ⅲ「不快を感じない水環境」が7地点、評価値Ⅳ「多少不快な水環境」が2地点、評価値Ⅴ「不快な水環境」は0地点でした。

※ 調査を実施した44地点中、生物または水質の水環境評価に必要な項目が全てそろっている地点のみの集計としています。また、環境保全団体等の個々の調査結果等を7ページ以降に示しました。

表 I - 1 川の水環境の快適さの表現（評価値）

階級	川の水環境の快適さ	例えば（感じることなど）
I	快適な水環境	清冽な水の冷たさを感じる さわやかに自然を楽しめる ヤマメ、タカハヤが生息している
II	親しめる水環境	水泳や水遊びができると感じる 水や水辺がこちよく感じる アユ、ウグイ、カワムツが生息している
III	不快を感じない水環境	素足で水の中に入れると感じる 川面や水辺に親しみを感じる ヨシノボリ、オイカワ、コイが生息している
IV	多少不快な水環境	素足では水の中に入りたくない 水辺に近づいて不快感がない程度 コイ、フナ、ナマズが生息している
V	不快な水環境	きたなくて、川では遊べないと感じる 水辺に近よりたいと感じない

表 I - 2 平成 30 年度（2018 年度）における県内の団体の参加状況及び調査結果

調査番号	団体番号	調査項目	団体名	河川	水系	市町村名	調査地点名	参加数(のべ)	調査日	水質評価	生物評価
1	1	水質	九州テクニカルメンテナンス	坪井川	白川	熊本市	栄橋付近	16	9/15	I	-
2		水質		梶尾川	白川	熊本市	北部坪井橋付近	16	9/15	II	-
3		水質		坪井川	白川	熊本市	鶴羽田橋付近	16	9/15	I	-
4		水質		坪井川	白川	熊本市	平成大橋付近	13	9/22	II	-
5		水質		坪井川	白川	熊本市	高橋稲荷大橋付近	13	9/22	II	-
6		水質		井芹川	白川	熊本市	第一池上橋付近	13	9/22	III	-
7		水質		亀川		天草市	明亀橋付近	24	7/28	I	-
8		水質		亀川		天草市	桶渡橋付近	24	7/28	I	-
9		水質		木山川	緑川	益城町	荒瀬橋付近	18	8/26	I	-
10		水質		木山川	緑川	益城町	三竹橋付近	18	8/26	I	-
11		水質		木山川	緑川	益城町	新川橋付近	18	8/26	I	-
12	2	水質	大江田子ども会	菊池川	菊池川	和水町	菊池川樋門付近	39	8/5	IV	-
13		水質		菊池川	菊池川	和水町	コミュニティセンター付近	33	8/5	I	-
14		水質		菊池川	菊池川	和水町	コーポ坂本付近	37	8/5	III	-
15	3	水質	北甘木活動組織 北甘木親子会	矢形川	緑川	嘉島町	石塚橋下流	29	8/19	III	-
16		水質		天水川	緑川	嘉島町	天水川3号橋下流	29	8/19	II	-
17		水質		千原池		嘉島町	千原ため池	29	8/19	IV	-
18	4	生物&水質	山鹿市立平小城小学校 (NPO法人ひらおぎ)	岩村川	菊池川	山鹿市	内野	8	7/19	II	II
19	5	生物&水質	豊野町みどりの少年団	浜戸川 小熊野川	緑川	宇城市	宇城市豊野町山崎	12	9/17	II	IV
20	6	生物&水質	佐伊津地区振興会環境部会	隅田川		天草市	玉の橋付近	41	8/6	III	I
21	7	生物&水質	NPO法人つわの花	中津川		天草市	旧島子小学校跡地	15	8/2	III	I
22	8	水質	菊池管内環境活動協議会 大津町立大津北小学校	湧水		大津町	大津町平川地区	23	10/12	I	-
23		水質		通潤用水	緑川	山都町	円形分水工	23	10/12	I	-
24		水質		平川	菊池川	大津町	大津北小学校近くの リフレッシュ広場付近	23	10/12	II	-
25		水質		矢護川	菊池川	大津町	矢護川公園	23	10/12	I	-
26	9	生物&水質	菊池管内環境活動協議会 菊池市立泗水東小学校	日向川	合志川	菊池市	菊池市泗水町永	47	10/18	I	III

次頁につづく

表 I - 2 平成 30 年度(2018 年度)における県内の団体の参加状況及び調査結果 (つづき)

調査番号	団体番号	調査項目	団体名	河川	水系	市町村名	調査地点名	参加数(のべ)	調査日	水質評価	生物評価
27	10	生物 & 水質	社会福祉法人天草市社会福祉協議会有明支所	東追川		天草市	旧赤崎小学校付近	18	7/31	Ⅱ	Ⅰ
28	11	生物 & 水質	浦っこクラブ	浦川		天草市	天草市倉岳町浦	16	8/21	Ⅲ	Ⅱ
29	12	生物 & 水質	山口地域活動クラブ	町山口川		天草市	仁田公民館	30	8/23	Ⅱ	Ⅰ
30	13	生物 & 水質	菊陽町立菊陽南小学校	白川	白川	菊陽町	菊陽町曲手 川手橋	13	6/14	Ⅲ	Ⅰ
31	14	生物 & 水質	宇城市立小川小学校	砂川	砂川	宇城市	砂川橋	18	9/27	Ⅰ	Ⅰ
32	15	生物 & 水質	御船町立木倉小学校 (上益城地域振興局土木部一日河川パトロール)	御船川	緑川	御船町	妙見橋	21	9/28	Ⅰ	Ⅰ
33	16	生物 & 水質	人吉市立人吉東小学校	球磨川	球磨川	人吉市	中川原公園	82	6/1	Ⅰ	Ⅰ
34	17	生物 & 水質	人吉市立東間小学校	胸川	球磨川	人吉市	胸川むつみ橋下流	56	5/25	Ⅱ	Ⅰ
35	18	生物 & 水質	人吉市立中原小学校	球磨川	球磨川	人吉市	天狗橋付近	49	6/7	Ⅱ	Ⅰ
36	19	生物 & 水質	人吉市立大畑小学校	鳩胸川	球磨川	人吉市	上麓橋下	22	9/13	Ⅰ	Ⅰ
37	20	生物 & 水質	人吉市立西瀬小学校	永野川	球磨川	人吉市	永野橋上流	41	6/12	Ⅰ	Ⅰ
38	21	生物 & 水質	人吉市立人吉西小学校	山田川	球磨川	人吉市	鶴亀橋下	65	6/4	Ⅰ	Ⅰ
39	22	生物 & 水質	天草市立栖本小学校 (天草広域本部土木部一日河川パトロール)	河内川	河内川	天草市	栖本小学校側	16	6/1	Ⅱ	Ⅰ
40	23	生物 & 水質	上天草市立教良木小学校 (天草広域本部土木部一日河川パトロール)	教良木川	教良木川	上天草市	教良木小学校	18	8/7	Ⅰ	Ⅰ
41	24	生物 & 水質	苓北町立坂瀬川小学校	少路川		苓北町	坂瀬川小学校横	10	10/11	Ⅰ	Ⅰ
42	25	生物 & 水質	苓北町立志岐小学校	志岐川		苓北町	八竜橋付近	30	10/11	Ⅰ	Ⅰ
43	26	生物 & 水質	苓北町立都呂々小学校	舞子川		苓北町	舞子橋付近	9	10/12	Ⅰ	Ⅰ
44	27	生物 & 水質	苓北町立富岡小学校	中山川		苓北町	中山川下流	10	10/12	Ⅰ	Ⅰ
									環境団体等		9
									学校関係		18
									のべ調査地点		44
									のべ調査人数		1124

水系	合計
緑川	8
白川	7
菊池川	6
球磨川	6

調査結果	水質	生物
Ⅰ	23	19
Ⅱ	12	2
Ⅲ	7	1
Ⅳ	2	1
Ⅴ	0	0
合計	44	23

※ 表中の記載内容は、各調査団体が提出した報告書から分かる範囲で記載しています。

- 階級Ⅰ：快適な水環境
- 階級Ⅱ：親しめる水環境
- 階級Ⅲ：不快を感じない水環境
- 階級Ⅳ：多少不快な水環境
- 階級Ⅴ：不快な水環境

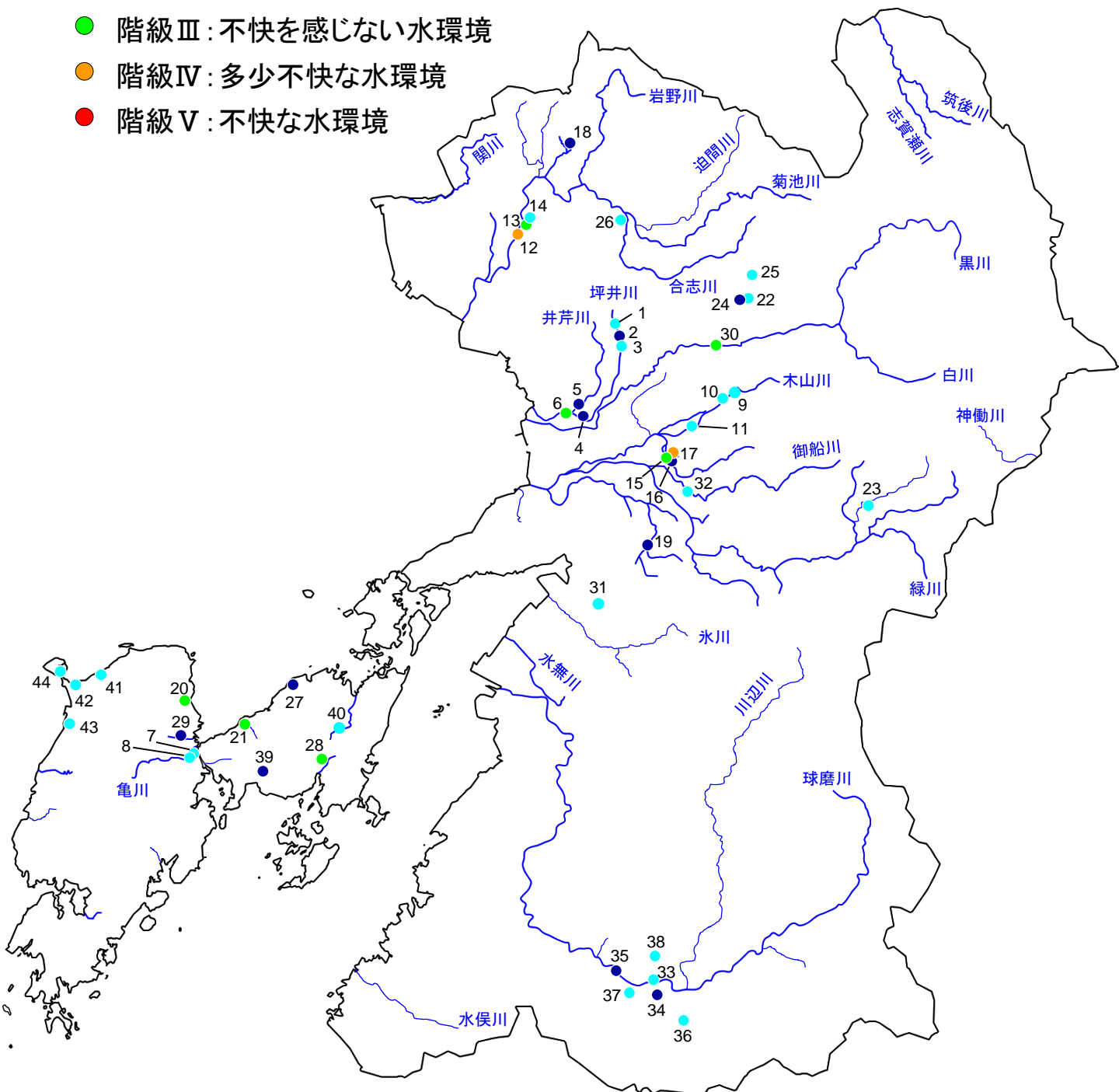


図 I - 1 水質評価結果マップ

- 階級Ⅰ：快適な水環境
- 階級Ⅱ：親しめる水環境
- 階級Ⅲ：不快を感じない水環境
- 階級Ⅳ：多少不快な水環境
- 階級Ⅴ：不快な水環境

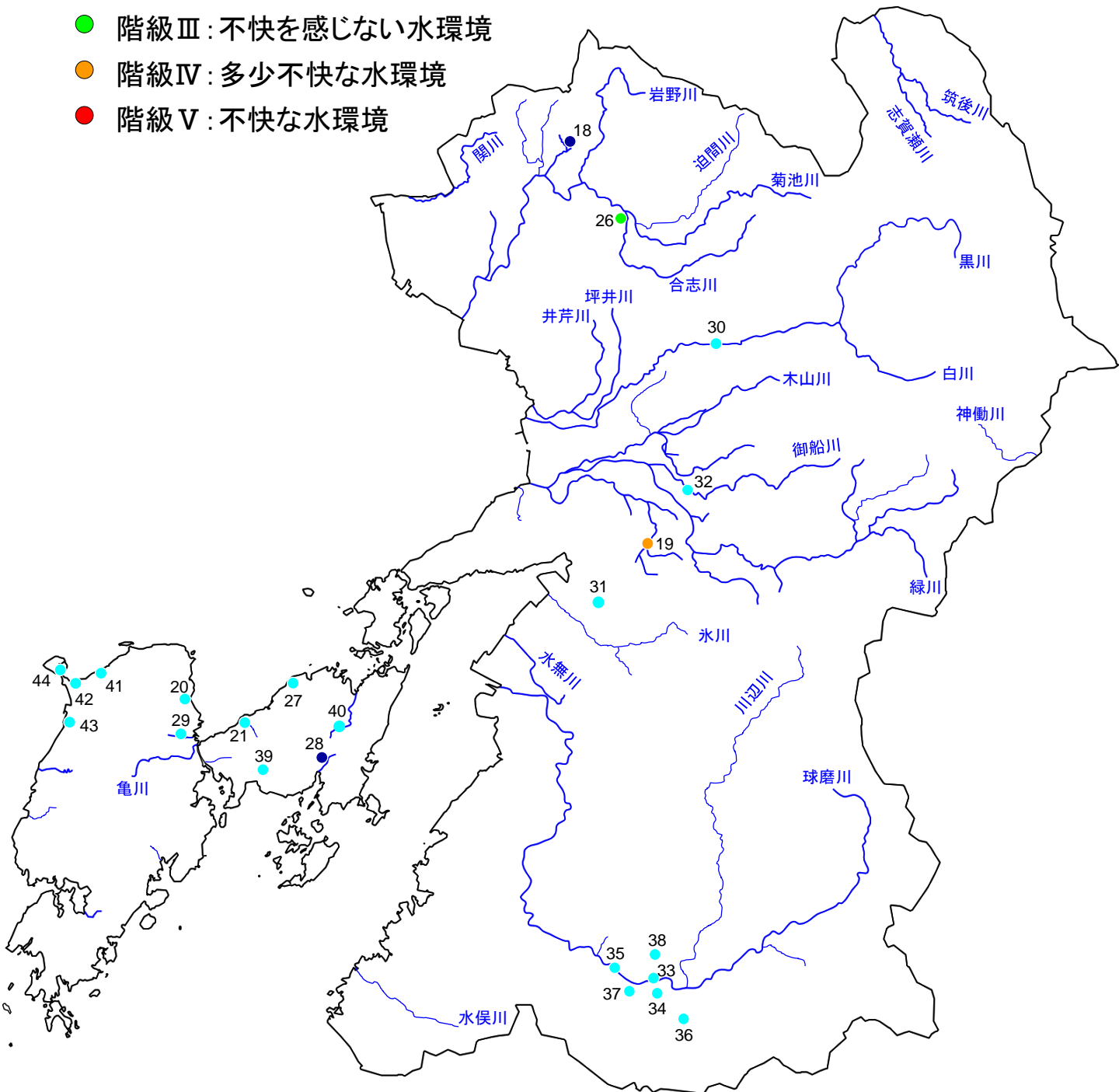


図 I - 2 指標生物評価結果マップ

Ⅱ 各団体の調査結果

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	坪井川 (水系)		
調査地点名	栄橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	16人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年9月15日	調査時間	8:40
調査日天候	晴	気温	24.9 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
① 評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	21.1 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
② 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	② ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	① ういし 浮き石	3. しずいし 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	② メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② すなごろ 砂泥	3. どろふはい 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① ちやいろ 茶緑色	2. みどりいろ 緑色	3. しろはいろ 白灰黒色
j. 付着藻類量	① ① 少ない	2. 多い	3. マット状
③ 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.4 点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

川の水はとても澄んでおり、水質等には問題ありませんでした。

また、川には人工のブロックが設けられていました。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	梶尾川 (水系)		
調査地点名	北部坪井橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	16人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年9月15日	調査時間	9:00
調査日天候	晴	気温	27.0 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
① 評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	24.1 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	③ 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
② 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	③ ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. ういし 浮き石	③ しずいし 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	② メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② すなごろ 砂泥	3. どろふはい 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① ちやいろ 茶緑色	2. 緑色	3. しろはいろ 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	② 多い	3. マット状
③ 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.0 点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

川の水が少し濁っており、水の流れが少なかったように感じました。
トンボが生息していました。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	坪井川 (水系)		
調査地点名	鶴羽田橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	16人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年9月15日	調査時間	8:40
調査日天候	晴	気温	24.9 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
① 評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	23.0 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
② 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	③ ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. ういし 浮き石	③ しずいし 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	② メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② すなごろ 砂泥	3. どりふはい 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① ちやりよく 茶緑色	2. みどりいろ 緑色	3. しろはいくろしよく 白灰黒色
j. 付着藻類量	① ① 少ない	2. 多い	3. マット状
③ 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.8 点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

川の水はきれいで水質等には問題ありませんでしたが、魚の姿は見られませんでした。アメンボは生息していました。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	坪井川 (水系)		
調査地点名	平成大橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	13人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年9月22日	調査時間	9:25
調査日天候	晴	気温	26.8℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 ③. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 ③. 市街地
①評価基礎点 (A+B)÷2 = 3点 階級 V	

2. 水質を調べる

水温	24.0 °C
a. 水の色	①. 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	①. 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 ②. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	①. 6.5~8.5 2. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 ③. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e)÷5 = 1.6点 階級 II	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 ③. 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 ③. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン ③. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし ②. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 2. 緑色 ③. 白灰黒色
j. 付着藻類量	①. 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)÷5 = 2.4点 階級 IV	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

先日が大雨であった為、透視度などの

水質項目に影響がありました。

また、種類は不明ですが若干数の魚が見られました。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	坪井川 (水系)		
調査地点名	高橋稻荷大橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	13人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年9月22日	調査時間	9:25
調査日天候	晴	気温	26.8℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 ③. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 ③. 市街地
①評価基礎点 (A+B)÷2 = 3点 階級 V	

2. 水質を調べる

水温	22.8 °C		
a. 水の色	1. 無色 ②. 緑茶色 3. 白・灰・黒色		
b. 水の臭い	①. 無臭 3. 臭いあり		
c. 透視度	①. 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	①. 6.5~8.5 2. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	①. 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
②水質評価点 (a+b+c+d+e)÷5 = 1.2点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 ③. 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 ③. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン ③. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 ③. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	①. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	①. 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)÷5 = 2.2点 階級 III	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

先日が大雨であった為、川は濁って見えましたが、水質には問題ありませんでした。ハヤやウグイが生息していました。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	井芹川 (水系)		
調査地点名	第1池上橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	13人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年9月22日	調査時間	9:50
調査日天気	晴	気温	26.8℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 ③. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 ③. 市街地
①評価基礎点 (A+B)÷2 = 3点 階級 V	

2. 水質を調べる

水温	23.2 °C		
a. 水の色	1. 無色 ②. 緑茶色 3. 白・灰・黒色		
b. 水の臭い	①. 無臭 3. 臭いあり		
c. 透視度	1. 80cm以上 ②. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	①. 6.5~8.5 2. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	1. 5.0mg/L未満 ③. 5.0mg/L以上		
②水質評価点 (a+b+c+d+e)÷5 = 1.8点 階級 III			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 ③. 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 ③. 沈み石
g. 石の大きさ	①. すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし ②. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	①. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	①. 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)÷5 = 1.6点 階級 II	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

他の川と比べて水は澄んでいたが、先日の大雨の影響で濁って見えました。また、魚が生息していました。

川の水環境調査記録用紙(その1)

No. 7

調査河川名 <small>ちょうさかせんめい</small>	亀川 (水系)		
調査地点名 <small>ちょうさちてんめい</small>	明亀橋付近		
調査団体名 <small>ちょうさだんたいめい</small>	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名 <small>たいひょうしゃめい</small>		参加人数	24 人
連絡先住所			
調査年月日	平成30年7月28日	調査時間	6:30
調査日天候	晴れ	気温	29.0 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3 点 階級 V	

2. 水質を調べる

水温	28.0 °C
a. 水の色	①無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	①無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	①80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	①6.5~8.5 2. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	①5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点 階級 I	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 ③平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 ③沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか ②メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし ②砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	①茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない ②多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.0 点 階級 III	

メモ:

ハゼ、蟹、鯉が生息しており良好な水質と思われます。

底質は茶緑色の藻が多く足元が滑りやすかったです。

川の水環境調査記録用紙(その1)

No. 8

調査河川名	亀川 (水系)		
調査地点名	樋渡橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	24人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年7月28日	調査時間	6:30
調査日天候	晴れ	気温	29.0℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	② 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
① 評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.0 点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	27.5 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
② 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	③ ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. ういし 浮き石	③ いし 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	② メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② すなご 砂泥	3. どろ ふはい 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① ちやいろ 茶緑色	2. みどりいろ 緑色	3. しろはいろ 白灰黒色
j. 付着藻類量	① ① 少ない	2. 多い	3. マット状
③ 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.8 点 階級 III			

メモ:

鮎、エビ、鯉が生息しており良好な水質と思われます。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	木山川 (水系)		
調査地点名	荒瀬橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	18人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年8月26日	調査時間	9:20
調査日天候	晴	気温	32.5℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 (2) 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	(1) 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.5点 階級 II	

2. 水質を調べる

水温	22.5℃
a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	(1) 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1点 階級 I	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬 (3) ひらせ 平瀬
f. 石の状態	1. ういし 浮き石 (3) しずいし 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン (3) みかん
h. 堆積物の種類	(1) なし 2. すなご 砂泥 3. どろふはい 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) ちやうりく 茶緑色 2. みどりいろ 緑色 3. しろはいくろしよく 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.8点 階級 III	

メモ:

・川の水はゴミや濁りも無くきれいでした。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	木山川 (水系)		
調査地点名	三竹橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	18人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年8月26日	調査時間	9:20
調査日天候	晴	気温	32.5℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級 IV	

2. 水質を調べる

水温	22.5℃
a. 水の色	1. 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0点 階級 I	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6 点 階級 II	

メモ:

- ・川のみずはきれいでした。
- ・川の廻りは、雑草が多かったです。
- ・鯉が二匹見られました。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	木山川 (水系)		
調査地点名	新川橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	18人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年8月26日	調査時間	10:10
調査日天候	晴	気温	33.0℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5点 階級 IV	

2. 水質を調べる

水温	24.8℃
a. 水の色	1. 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0点 階級 I	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6点 階級 II	

メモ:

・地震の影響で橋が工事中だった為、仮設の橋にて採水しました。

・小魚が多数見られました。

かわ みずかんきょうちようさき ろくよう し
川の水環境調査記録用紙 (その1)

No. _____ 12

調査河川名	菊池川へ流れ出る排水路(水紫 菊池川)
調査地点名	菊池川村前9付近
調査団体名	大江田子供会・大江田地域資源保全体
代表者名	参加人数 39
連絡先住所	

調査年月日	調査時間	天候	気温
30年8月5日	9時	晴れ	22℃

① 調査地点の様子を調べる

A 川の地形	1 渓流域	2 山間流域	3 平地流域
B 川の背景	1 森林	2 畑・水田	3 市街地
① 評価基礎点(A+B)/2 = 2.5点 階級 IV			

② 水質を調べる

水温	27℃	27℃
a 水の色	2	1 無色 ② 緑茶色 3 白・灰・黒色
b 水の臭い	3	1 無臭 ③ 臭いあり
c 透視度	3 cm	1 80cm以上 2 60cm以上 ③ 60cm未満
d pH	/	① 6.5~8.5 3 6.4以下、8.6以上
e COD	3	1 5.0mg/1未満 ③ 5.0mg/1以上
② 水質評価点(a+b+c+d+e)/5 = 2.4点 IV階級		

③ 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	草瀬	平瀬
f 石の状態	1 浮石	3 洗み石
g 石の大きさ	1 すいか	2 メロン 3 みかん
h 堆積物の種類	1 なし	2 砂泥 3 泥(腐敗)
i 付着藻類色	1 茶緑色	2 緑色 3 白灰黒色
j 付着藻類量	1 少ない	2 多い 3 マット状
③ 川底評価点(f+g+h+i+j)/5 = _____点 階級		

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の 快適さ	①評価の 基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な 水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる 水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を 感じない 水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少 不快な 水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な 水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

メモ 河川の匂、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、水辺の草木の状況、魚がいたか、鳥がいたか、ごみがあったか、何でも気づいたことがあったら書き止めておくと後で便利です。

色がは、キリ見えなかった。
 においは少しあった。
 水は冷たかった。



年組 _____
 名前 _____

かわ みずかんきょうちようさきろくようし 川の水環境調査記録用紙 (その1)

No. 13

調査河川名	菊池川へ流れ出る排水路 (水系 菊池川)
調査地点名	コミュニティセンター前の排水路
調査団体名	大江田子供会・大江田地域資源保全隊
代表者名	参加人数 33人
連絡先住所	

調査年月日	調査時間	天候	気温
平成30年8月5日	9:00	晴れ	32℃

① 調査地点の様子を調べる

A 川の地形	1 渓流域	2 山間流域	③ 平地流域
B 川の背景	1 森林	② 畑・水田	3 市街地
① 評価基礎点(A+B)/2 = 2.5 点 階級 IV			

② 水質を調べる

水温	22℃	22℃
a 水の色	/	① 無色 2 緑茶色 3 白・灰・黒色
b 水の臭い	/	① 無臭 3 臭いあり
c 透視度	85 cm	① 80cm以上 2 60cm以上 3 60cm未満
d pH	7.5	① 6.5~8.5 3 6.4以下、8.6以上
e COD	/	① 5.0mg/1未満 3 5.0mg/1以上
② 水質評価点(a+b+c+d+e)/5 = / 点 階級		

β 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	草瀬	草瀬
f 石の状態	1 浮石	3 沈み石
g 石の大きさ	1 すいか	2 メロン 3 みかん
h 堆積物の種類	1 なし	2 砂泥 3 泥(腐敗)
i 付着藻類色	1 茶緑色	2 緑色 3 白灰黒色
j 付着藻類量	1 少ない	2 多い 3 マット状
③ 川底評価点(f+g+h+i+j)/5 = 点 階級		

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	②2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

メモ 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、水辺の草木の状況、魚がいたか、鳥がいたか、ごみがあったか、何でも気づいたことがあったら書き止めておくとな後で便利です。

水は透明でとてもきれいでした。



年組
名前

かわ みずかんきょうちようさき ろくようし 川の水環境調査記録用紙 (その1)

No. 14

調査河川名	柳池川へ流す排水路 (水紫南池川)
調査地点名	2-ポ坂手 西側の排水路
調査団体名	下江日子族会、下江地田本 習厚隊
代表者名	参加人数 37
連絡先住所	

調査年月日	調査時間	天候	気温
平成30年 8月5日	1:00	晴+	22℃

① 調査地点の様子を調べる

A 川の地形	1 渓流域	2 山間流域	③ 平地流域
B 川の背景	1 森林	② 畑・水田	3 市街地
① 評価基礎点(A+B)/2 = 2.5点 階級 IV			

② 水質を調べる

水温	28℃	28	
a 水の色	/	① 無色	2 緑茶色 3 白・灰・黒色
b 水の臭い	3	1 無臭	③ 臭いあり
c 透明度	3 cm	1 80cm以上	2 60cm以上 ③ 60cm未満
d pH	/	① 6.5~8.5	3 6.4以下、8.6以上
e COD	3	1 5.0mg/1未満	③ 5.0mg/1以上
② 水質評価点(a+b+c+d+e)/5 = 2.2点 階級 IV			

β 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	草瀬	平瀬	
f 石の状態	1 浮石	3 沈み石	
g 石の大きさ	1 すいか	2 メロン	3 みかん
h 堆積物の種類	1 なし	2 砂泥	3 泥(腐敗)
i 付着藻類色	1 茶緑色	2 緑色	3 白灰黒色
j 付着藻類量	1 少ない	2 多い	3 マット状
③ 川底評価点(f+g+h+i+j)/5 = 点 階級			

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の 快適さ	①評価の 基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な 水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる 水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を 感じない 水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
IV	多少 不快な 水環境	②.5	2.0	2.0
			2.2	2.2
V	不快な 水環境	3.0	2.4	2.4
			2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

メモ 河川の匂、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、水辺の草木の状況、魚がいたか、鳥がいたか、ごみがあったか、何でも気づいたことがあったら書き止めておくと後で便利です。

の予想以上に汚かった
りして汚らわしい
ひらひら



年組
名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

No. 15

調査河川名	矢形川 (水系 緑川)		
調査地点名	嘉島町北甘木(石塚橋下流右岸)		
調査団体名	北甘木活動組織・北甘木親子会		
代表者名		参加人数	29人
連絡先住所			
調査年月日	30年8月19日	調査時間	9時
調査日天候	晴	気温	30℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 ③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 ② 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 $(A+B)/2 = 2.5$ 点 階級	

2. 水質を調べる

水温	26℃
a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 ③ 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 ③ 5.0mg/L以上
②水質評価点 $(a+b+c+d+e)/5 = 1.8$ 点 階級	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン 3. みかん	
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)	
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色	
j. 付着藻類量	1. 少ない 2. 多い 3. マット状	
③川底評価点 $(f+g+h+i+j)/5 =$ 点 階級		

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

No. 16

調査河川名	天水川 (氷室 緑川)		
調査地点名	嘉島町北甘木(天水川瑞橋下流右岸)		
調査団体名	北甘木活動組織・北甘木親子会		
代表者名		参加人数	29 人
連絡先住所			
調査年月日	30年8月19日	調査時間	19時
調査日天候	晴	気温	30℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
① 評価基礎点 (A+B)/2 = 2.5 点 階級			

2. 水質を調べる

水温	29℃
a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	① 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	① 0mg/L未満 ③ 5.0mg/L以上
② 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.4 点 階級	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	ほやせ 草瀬	ひらせ 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン 3. みかん	
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)	
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色	
j. 付着藻類量	1. 少ない 2. 多い 3. マット状	
③ 川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 点 階級		

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

No. 17

調査河川名	(水系)		
調査地点名	嘉島町北甘木(干原ため池)		
調査団体名	北甘木活動組織・北甘木親子会		
代表者名		参加人数	29人
連絡先住所			
調査年月日	30年8月19日	調査時間	9時
調査日天候	晴	気温	30℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 ③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 ② 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 2.5 点 階級	

2. 水質を調べる

水温	29℃
a. 水の色	1. 無色 ② 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭 ③ 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 ③ 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 ③ 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 2.4 点 階級	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 点 階級	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	岩村川 (水系 菊池川)		
調査地点名	内野		
調査団体名	山鹿市立平小城小学校		
代表者名	参加人数	8 人	
連絡先住所	〒 電話: - - ()		
調査年月日	平成30年7月19日	調査時間	13:40
調査日天候	晴	気温	37 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2 点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	30 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.2 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.0 点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 18

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快 適 な 水 環 境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親 し め る 水 環 境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	13. カワニナ			●		
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水 多 少 不 快 な 水 環 境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ				○	
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	不 快 な 水 環 境 (V)	22. サカマキガイ				
23. イトミミズ類						○
24. セスジユスリカ(赤)						
25. ホシチョウバエ						
得点の集計		出現した種の数(○+●)	4	1	3	1
	最も多い種の数(●)			1		
	得点の合計	4	1	4	1	2
底生動物による川の水環境評価の判定		II				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	浜戸川・小熊野川 (水系 緑川)		
調査地点名	宇城市豊野町山崎		
調査団体名	豊野町みどりの少年団		
代表者名	奥村 隆雄	参加人数	12人
連絡先住所	〒		
調査年月日	平成30年9月17日	調査時間	午前8時30分
調査日天候	晴	気温	27℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	24℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.8点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

エビ、オイカワ、ハゼ、ヤゴ(3種)

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 19

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドROMシ					
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水環境 (IV) 多少不快な	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ				○	
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					●
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					○
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	1	1	1	2
	最も多い種の数(●)				1	
	得点の合計	1	1	1	3	1
底生動物による川の水環境評価の判定		IV				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	隅田川 (水系)		
調査地点名	天草市佐伊津町下在郷(玉の橋付近)		
調査団体名	佐伊津地区振興会環境部会		
代表者名		参加人数	41人
連絡先住所			
調査年月日	平成30年8月6日(月)	調査時間	9時00分~11時30分
調査日天候	晴れ	気温	31℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	28℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.8点 階級 III			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	1. 早瀬	2. 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.4点 階級 IV			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 20

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
1.カワゲラ類 2.ナガレトビケラ類 3.ヒゲナガカワトビケラ 4.チラカゲロウ 5.携巢性トビケラ類 6.ニッポンヨコエビ・サワガニ 7.ヒラタカゲロウ類	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	●				
	4. チラカゲロウ	●				
	5. 携巢性トビケラ類	●				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	●				
	7. ヒラタカゲロウ類					
8.ウズムシ類 9.ヘビトンボ類 10.マダラカゲロウ類 11.タニガワカゲロウ類 12.ブユ類・ガガンボ類	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類		●			
	10. マダラカゲロウ類		●			
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
13.カワニナ 14.ヒラタドROMシ 15.コカゲロウ類 16.コガタシマトビケラ 17.ユスリカ類(白・緑)	13. カワニナ			●		
	14. ヒラタドROMシ			●		
	15. コカゲロウ類			●		
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)			●		
18.貝類 19.サホコカゲロウ 20.ミズムシ(等脚目) 21.ヒル類	18. 貝類				●	
	19. サホコカゲロウ				●	
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	22. サカマキ貝					
22.サカマキ貝 23.イトミズ類 24.セスジユスリカ(赤) 25.ホシチョウバエ	22. サカマキ貝					●
	23. イトミズ類					●
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	4	2	4	2
	最も多い種の数(●)	1				
	得点の合計	5	2	4	2	2
底生動物による川の水環境評価の判定		快適な水環境(I)				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	中津川 (水系)		
調査地点名	旧島子小学校跡地		
調査団体名	NPO法人つわの花		
代表者名	参加人数	15人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年8月2日	調査時間	10:00~11:45
調査日天候	晴れ	気温	30℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 $(A+B)/2 = 3.0$ 点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	27.0℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満		3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 $(a+b+c+d+e)/5 = 1.8$ 点 階級 III			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 $(f+g+h+i+j)/5 = 1.4$ 点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 21

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水環境 (IV) 多少不快な	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	4	1	2	0	0
	最も多い種の数(●)	0	0	0	0	0
	得点の合計	4	1	2	0	0
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	地下水(地域飲料水)(水系)		
調査地点名	大津町平川地区		
調査団体名	菊池管内環境活動協議会、大津北小学校(4年)		
代表者名	参加人数	23人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年10月12日	調査時間	14時
調査日天候	晴れ	気温	28℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.5 点 階級			

2. 水質を調べる

水温	17℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1 点 階級			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	通潤用水 (水系 水系 緑川)		
調査地点名	円形分水工		
調査団体名	菊池管内環境活動協議会、大津北小学校(4年)		
代表者名	参加人数	23人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年10月12日	調査時間	14時
調査日天候	晴れ	気温	28℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 1 点 階級			

2. 水質を調べる

水温	℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1 点 階級			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	平川 (水系 菊池川)		
調査地点名	大津北小学校近くのリフレッシュ広場付近		
調査団体名	菊池管内環境活動協議会、大津北小学校(4年)		
代表者名	参加人数	23人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年10月12日	調査時間	14時
調査日天候	晴れ	気温	28℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級			

2. 水質を調べる

水温	23℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.2 点 階級			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	矢護川 (水系 菊池川)		
調査地点名	矢護川公園		
調査団体名	菊池管内環境活動協議会、大津北小学校(4年)		
代表者名	参加人数	23人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年10月12日	調査時間	14時
調査日天候	晴れ	気温	28℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)÷2= 2 点 階級			

2. 水質を調べる

水温	18℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)÷5= 1 点 階級			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)÷5= 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	日向川 (水系 合志川)		
調査地点名	菊池市泗水町永		
調査団体名	菊池市立泗水東小学校、菊池管内環境活動協議会		
代表者名	参加人数	47 人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年10月18日	調査時間	9時00分～11時20分
調査日天候	晴	気温	26 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)÷2 = 2.5 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	17 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5～8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)÷5 = 1 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロ	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)÷5 = 1.8 点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。



年 組 名 前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 26

4. 底生動物を調べる

階級	No. <small>しひょうせいぶつめい</small> 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			●		
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類					○
	19. サホコカゲロウ					○
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					○
	22. サカマキガイ					○
不快な水環境 (V)	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	2	2	3	3
	最も多い種の数(●)			1		
得点の合計		2	2	4	3	
底生動物による川の水環境評価の判定		III				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	東迫川 (水系)		
調査地点名	天草市有明町赤崎(旧赤崎小学校付近)		
調査団体名	社会福祉法人天草市社会福祉協議会有明支所		
代表者名	参加人数	18人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年7月31日	調査時間	10時30分～12時00分
調査日天候	晴れ	気温	31℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	26℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5～8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.4点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 27

4. ^{ていせいどうぶつ}底生動物を調べる

階級	No. しひょうせいぶつめい 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	●				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ	●				
	5. 携巢性トビケラ類	●				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	●				
	7. ヒラタカゲロウ類	●				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		●			
	9. ヘビトンボ類		●			
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		●			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			●		
	14. ヒラタドロムシ			●		
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水環境 (IV) 多少不快な	18. 貝類				●	
	19. サホコカゲロウ				●	
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類				●	
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					●
	23. イトミズ類					●
	24. セスジユスリカ(赤)					●
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	5	3	2	3
	最も多い種の数(●)	2		1		1
	得点の合計	7	3	3	3	4
底生動物による川の水環境評価の判定		快適な水環境 (I)				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	浦川 (水系)		
調査地点名	天草市倉岳町浦		
調査団体名	浦っ子クラブ		
代表者名	参加人数	16人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年8月21日	調査時間	13:30~
調査日天候	晴れ	気温	33℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 $(A+B)/2 = 2.5$ 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 $(a+b+c+d+e)/5 = 2.0$ 点 階級 III			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 $(f+g+h+i+j)/5 = 2.0$ 点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくのと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 28

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類		●			
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
	不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			○	
14. ヒラタドロムシ						
15. コカゲロウ類						
16. コガタシマトビケラ						
17. ユスリカ類(白・緑)						
水多量不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ				
23. イトミミズ類						
24. セスジユスリカ(赤)						
25. ホシチョウバエ						
得点の集計		出現した種の数(○+●)	1	1	1	0
	最も多い種の数(●)	0	1	0	0	0
	得点の合計	1	2	1	0	1
底生動物による川の水環境評価の判定		II				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	町山口川 (水系)		
調査地点名	仁田公民館		
調査団体名	山口地域活動クラブ		
代表者名	参加人数	30人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年8月23日	調査時間	9:30~11:30
調査日天候	晴れ	気温	32.5℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.5点 階級 II			

2. 水質を調べる

水温	27℃
a. 水の色	1. 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4点 階級 II	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 3. 洗み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6点 階級 II	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 29

4. 底生動物を調べる

階級	No. しひょうせいぶつめい 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類	●				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水環境 (IV) 多少不快な	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					○
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	5	2	1	1	1
	最も多い種の数(●)	1	0	0	0	0
	得点の合計	6	2	1	1	1
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	白川 (水系)		
調査地点名	菊陽町曲手 川手橋		
調査団体名	菊陽町立菊陽南小学校		
代表者名	参加人数	13人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年6月14日	調査時間	10:50~12:10
調査日天候	晴れ	気温	28℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)÷2 = 2.5点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	23℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)÷5 = 2.0点 階級 III			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)÷5 = 1.6点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 30

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快 適 な 水 環 境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	●				
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親 し め る 水 環 境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		●			
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドROMシ					
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水 多 少 不 快 な 水 環 境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不 快 な 水 環 境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	4	1	0	0
最も多い種の数(●)	1	1	0	0	0	
得点の合計		5	2	0	0	0
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	砂川 (水系 砂川)		
調査地点名	砂川橋		
調査団体名	宇城市立小川小学校4年		
代表者名	参加人数	18人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年9月27日	調査時間	9:30~11:20
調査日天候	日青	気温	22.4℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 ③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 ③ 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 3 点 階級 V	

2. 水質を調べる

水温	22℃
a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	① 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.0 点 階級 I	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	① 早瀬 ② 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 ③ 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン ③ みかん
h. 堆積物の種類	① なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 ② 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 2 点 階級 III	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

見ゆるとは違ひ。
川の川底とともみまいて
あること成りかた。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 31

4. 底生動物を調べる

階級	No. しひょうせいぶつめい 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	●				
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水環境 (IV) 多少不快な	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ				
23. イトミズ類						
24. セスジユスリカ(赤)						
25. ホシチョウバエ						
得点の集計		出現した種の数(○+●)	4	2	0	0
	最も多い種の数(●)	1	0	0	0	0
	得点の合計	5	2	0	0	0
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	御船川 (水系 水系 緑川)		
調査地点名	妙見橋		
調査団体名	木倉小学校 5年生		
代表者名	参加人数	21人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年9月28日	調査時間	10:00
調査日天候	晴れ	気温	24.5℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.0点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	19.5℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 32

4. 底生動物を調べる

階級	No. しひょうせいぶつめい 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	●				
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
水環境 (IV) 多少不快な	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ				○	
	20. ミズムシ(等脚目)				○	
	21. ヒル類				○	
	不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ				
23. イトミズ類						○
24. セスジユスリカ(赤)						○
25. ホシチョウバエ						○
得点の集計		出現した種の数(○+●)	6	3	3	0
	最も多い種の数(●)	1	0	0	0	0
	得点の合計	7	3	3	0	0
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	球磨川 (水系 球磨川)		
調査地点名	中川原公園		
調査団体名	人吉東小学校 5年生		
代表者名	参加人数	82人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年6月1日	調査時間	10:00
調査日天候	晴	気温	21 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	18 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.4点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくのと後で便利です。

川の水環境調査記録用紙(その2)

ていせいどうぶつ
4. 底生動物を調べる

階級	No. しひょうせいぶつめい 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	●				
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水環境 (IV) 多少不快な	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					○
	25. ホシチョウバエ					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	6	1	2	0	1
	最も多い種の数(●)	1	0	0	0	0
	得点の合計	7	1	2	0	1
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	胸川 (水系 球磨川)		
調査地点名	胸川むつみ橋下流		
調査団体名	東間小学校 5年生		
代表者名	参加人数	56人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年5月25日	調査時間	9:40
調査日天候	くもり	気温	23 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	③ 市街地
①評価基礎点 (A+B)÷2 = 3点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	18 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	③ 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)÷5 = 1.4点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	① ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	① 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	② メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② すなどろ 砂泥	3. だろ ふはい 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)÷5 = 1.4点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくのと後で便利です。

川の水環境調査記録用紙(その2)

ていせいどうぶつ
4. 底生動物を調べる

階級	No. しひょうせいぶつめい 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	●				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水環境 (IV) 多少不快な	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					○
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	5	4	4	1	1
	最も多い種の数(●)	1	0	0	0	0
	得点の合計	6	4	4	1	1
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	球磨川 (水系 球磨川)		
調査地点名	天狗橋付近		
調査団体名	中原小学校 5年生		
代表者名	参加人数	49人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年6月7日	調査時間	14:24
調査日天候	曇り	気温	29℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 (2) 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 (2) 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2点 階級 III	

2. 水質を調べる

水温	21℃
a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	(1) 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 (3) 60cm未満
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4点 階級 II	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬 (ひらせ 平瀬)
f. 石の状態	(1) 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか (2) メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	(1) なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.2点 階級 II	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

川の水環境調査記録用紙(その2)

ていせいどうぶつ
4. 底生動物を調べる

階級	No. しひょうせいぶつめい 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類	●				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	●				
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水環境 (IV) 多少不快な	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					○
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					○
	25. ホシチョウバエ					○
得点の集計	出現した種の数(○+●)	5	3	3	0	2
	最も多い種の数(●)	2	0	0	0	0
	得点の合計	7	3	3	0	2
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	鳩胸川 (水系 球磨川)		
調査地点名	上麓橋下		
調査団体名	大畑小学校		
代表者名	参加人数	22人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年9月13日	調査時間	9:05
調査日天候	くもり	気温	26 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 (2) 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 (2) 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2点 階級 III	

2. 水質を調べる

水温	19 °C
a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	(1) 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1点 階級 I	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	(1) 早瀬 (2) 平瀬
f. 石の状態	(1) 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか (2) メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	(1) なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.2点 階級 II	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

川の水環境調査記録用紙(その2)

ていせいどうぶつ
4. 底生動物を調べる

階級	No. しひょうせいぶつめい 指標生物名	水質環境評価階級					
		I	II	III	IV	V	
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○					
	2. ナガレトビケラ類	○					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○					
	4. チラカゲロウ	○					
	5. 携巢性トビケラ類	○					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○					
	7. ヒラタカゲロウ類	●					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○				
	9. ヘビトンボ類		○				
	10. マダラカゲロウ類		○				
	11. タニガワカゲロウ類		○				
	12. ブユ類・ガガンボ類						
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			○			
	14. ヒラタドロムシ						
	15. コカゲロウ類			○			
	16. コガタシマトビケラ						
	17. ユスリカ類(白・緑)						
水環境 (IV) 多少不快な	18. 貝類					○	
	19. サホコカゲロウ						
	20. ミズムシ(等脚目)						
	21. ヒル類						
	22. サカマキガイ						
不快な水環境 (V)	23. イトミズ類					○	
	24. セスジユスリカ(赤)						
	25. ホシチョウバエ						
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	7	3	2	0	1
	最も多い種の数(●)	1	0	0	0	0	
得点の合計		8	3	2	0	1	
底生動物による川の水環境評価の判定		I					

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	永野川 (水系 球磨川)		
調査地点名	永野橋上流		
調査団体名	西瀬小学校 5年生		
代表者名	参加人数	41人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年6月12日	調査時間	9:45
調査日天候	曇り	気温	23 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	19 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.2点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

川の水環境調査記録用紙(その2)

ていせいどうぶつ
4. 底生動物を調べる

階級	No. しひょうせいぶつめい 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	●				
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
水環境 (IV) 多少不快な	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	6	5	4	1	0
	最も多い種の数(●)	1	0	0	0	0
	得点の合計	7	5	4	1	0
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	山田川 (水系 球磨川)		
調査地点名	鶴亀橋下		
調査団体名	人吉西小学校 5年生		
代表者名	参加人数	65人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年6月4日	調査時間	10:10
調査日天候	晴	気温	32 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)÷2= 3点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	21 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)÷5= 1点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)÷5= 1.2点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

川の水環境調査記録用紙(その2)

ていせいどうぶつ
4. 底生動物を調べる

階級	No. しひょうせいぶつめい 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快 適 な 水 環 境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	●				
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親 し め る 水 環 境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水 多 少 不 快 な 水 環 境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	21. ヒル類					
不 快 な 水 環 境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	25. ホシチョウバエ					
得 点 の 集 計	出現した種の数(○+●)	7	3	3	0	0
	最も多い種の数(●)	1	0	0	0	0
	得点の合計	8	3	3	0	0
底生動物による 川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	河内川 (水系 河内川)		
調査地点名	栖本小学校側		
調査団体名	土木部一日河川パトロール(栖本小学校)		
代表者名	参加人数	16人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年6月1日	調査時間	9:30~10:30
調査日天候	晴れ	気温	20.5℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	19.0℃
a. 水の色	1. 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4点 階級 II	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン 3. みかん	
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)	
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色	
j. 付着藻類量	1. 少ない 2. 多い 3. マット状	
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.8点 階級 III		

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくのと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 39

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級					
		I	II	III	IV	V	
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○					
	2. ナガレトビケラ類						
	3. ヒゲナガカワトビケラ						
	4. チラカゲロウ	○					
	5. 携巢性トビケラ類	○					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○					
	7. ヒラタカゲロウ類	○					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○				
	9. ヘビトンボ類		○				
	10. マダラカゲロウ類		○				
	11. タニガワカゲロウ類		○				
	12. ブユ類・ガガンボ類						
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			○			
	14. ヒラタドロムシ			○			
	15. コカゲロウ類			○			
	16. コガタシマトビケラ						
	17. ユスリカ類(白・緑)						
水多量不快な水環境 (IV)	18. 貝類				○		
	19. サホコカゲロウ				○		
	20. ミズムシ(等脚目)						
	21. ヒル類						
	22. サカマキガイ					○	
不快な水環境 (V)	23. イトミミズ類						
	24. セスジユスリカ(赤)						
	25. ホシチョウバエ						
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	5	4	3	2	1
	得点の集計	最も多い種の数(●)	0	0	0	0	0
得点の集計	得点の合計	5	4	3	2	1	
底生動物による川の水環境評価の判定		I					

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	教良木川 (水系 教良木川)		
調査地点名	教良木小学校		
調査団体名	土木部一日河川パトロール(教良木小学校)		
代表者名	参加人数	18人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年8月7日	調査時間	9:30~11:30
調査日天候	晴れ	気温	34℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 $(A+B) \div 2 = 2.0$ 点 階級 III	

2. 水質を調べる

水温	27℃
a. 水の色	1. 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 $(a+b+c+d+e) \div 5 = 1.0$ 点 階級 I	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬 ひらせ 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 $(f+g+h+i+j) \div 5 = 1.6$ 点 階級 II	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 40

4. 底生動物を調べる

階級	No. しひょうせいぶつめい 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水環境 (IV) 多少不快な	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ				○	
	20. ミズムシ(等脚目)				○	
	21. ヒル類				○	
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					○
	23. イトミズ類					○
	24. セスジユスリカ(赤)					○
	25. ホシチョウバエ					○
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	5	4	4	2
最も多い種の数(●)	0	0	0	0	0	
得点の合計		5	4	4	2	3
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	小路川 (水系)		
調査地点名	坂瀬川小学校横		
調査団体名	坂瀬川小学校5年生		
代表者名	参加人数	10人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年10月11日	調査時間	10:35
調査日天候	くもり	気温	17.5℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 $(A+B)/2 = 2.5$ 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	27℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 $(a+b+c+d+e)/5 = 1$ 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 $(f+g+h+i+j)/5 = 1.4$ 点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 41

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級					
		I	II	III	IV	V	
快 適 な 水 環 境 (I)	1. カワゲラ類	○					
	2. ナガレトビケラ類						
	3. ヒゲナガカワトビケラ						
	4. チラカゲロウ	●					
	5. 携巢性トビケラ類	○					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○					
	7. ヒラタカゲロウ類	○					
親 し め る 水 環 境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○				
	9. ヘビトンボ類						
	10. マダラカゲロウ類		○				
	11. タニガワカゲロウ類		○				
	12. ブユ類・ガガンボ類		○				
不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	13. カワニナ			○			
	14. ヒラタドロムシ			●			
	15. コカゲロウ類			○			
	16. コガタシマトビケラ			○			
	17. ユスリカ類(白・緑)						
水 多 少 不 快 な 水 環 境 (IV)	18. 貝類				○		
	19. サホコカゲロウ				○		
	20. ミズムシ(等脚目)				○		
	21. ヒル類				○		
	22. サカマキガイ					○	
不 快 な 水 環 境 (V)	23. イトミミズ類					○	
	24. セスジユスリカ(赤)					○	
	25. ホシチョウバエ					○	
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	5	2	1	1	1
	得点の集計	最も多い種の数(●)	1	0	0	0	0
得点の集計	得点の合計	6	2	1	1	1	
底生動物による川の水環境評価の判定		I					

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	志岐川 (水系)		
調査地点名	八竜橋付近		
調査団体名	志岐小学校5年生		
代表者名	参加人数	30人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年10月11日	調査時間	14:15
調査日天候	晴れ	気温	16℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 $(A+B)/2 = 2.5$ 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	18.5℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 $(a+b+c+d+e)/5 = 1$ 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 $(f+g+h+i+j)/5 = 1.4$ 点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 42

4. 底生動物を調べる

階級	No. しひょうせいぶつめい 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水環境 (IV) 多少不快な	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					○
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	4	2	3	0	1
	最も多い種の数(●)	0	0	0	0	0
	得点の合計	4	2	3	0	1
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	舞子川 (水系)		
調査地点名	舞子橋付近		
調査団体名	都呂々小学校5年生		
代表者名	参加人数	9人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年10月12日	調査時間	10:30
調査日天候	晴れ	気温	19℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 $(A+B)/2 = 2$ 点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	27℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 $(a+b+c+d+e)/5 = 1$ 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 $(f+g+h+i+j)/5 = 1.4$ 点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくのと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 43

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水多量不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ				○	
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ				
23. イトミミズ類						
24. セスジユスリカ(赤)						
25. ホシチョウバエ						
得点の集計		出現した種の数(○+●)	5	3	2	1
	最も多い種の数(●)	0	0	0	0	0
	得点の合計	5	3	2	1	1
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	中山川 (水系)		
調査地点名	中山川下流		
調査団体名	富岡小学校5年生		
代表者名	参加人数	10人	
連絡先住所			
調査年月日	平成30年10月12日	調査時間	14:00
調査日天候	晴れ	気温	24°C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 $(A+B)/2 = 2$ 点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	19.5 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 $(a+b+c+d+e)/5 = 1$ 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 $(f+g+h+i+j)/5 = 2.2$ 点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No. 44

4. 底生動物を調べる

階級	No. しひょうせいぶつめい 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水環境 (IV) 多少不快な	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)				○	
	21. ヒル類					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					○
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	25. ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	4	1	2	2	1
	最も多い種の数(●)	0	0	0	0	0
	得点の合計	4	1	2	2	1
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

熊本県環境生活部環境局環境保全課
〒862-8570
熊本市中央区水前寺六丁目 18 番 1 号
電話 096-333-2271
E-mail: kankyuhosen@pref.kumamoto.lg.jp
ホームページ
http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_583.html

発行者：熊本県 所属：環境保全課 発行年度：令和元年度 (2019 年度)
--